



金澤北ロータリークラブ





ガキ大将 (2)

渡邊 聡

「おりこうさん達」

昔は、前述のようなことは日常茶飯事であり大人たちはあまり大げさにはせず、少々のキズなどは家庭薬等で簡単に治してしまった。しかし、現在の親たちは、ほんの些細なケガでも大騒ぎをして病院へ連れて行く。極端には救急車まで呼ぶという。そして、学校や教育委員会などへ「イジメ」として訴え社会問題化させて、必要以上に悪い子を作り上げてしまっている。

最近では、あまりガキ大将と呼ばれる子供たちが少なくなっている。この現象はなぜなのだろうか。まず、考えられることは子供たちが外で集団となって遊ばなくなっていることが最大の要因として挙げられる。それは、核家族化で一家族の員数や子供の数が少なくなり、上の子が下の子の面倒をみることも減り集団性が失われていること。且つ、親たちは塾や習い事を重視し、子供達の遊びの必要性に対する考え方がズレてしまっていること。

一方では、田んぼや野っばらなどが少なくなり、且つ、学校の運動場なども管理が難しいという理由から開放しなくなり必然的に外で遊ぶ場所が少なくなっていること、等々があげられる。また、遊び方や遊び道具も大きく変化しており、自分達で遊びやその道具などを工夫して作り出すこともなく、簡単にお金を出してゲーム機などを買ってそれで遊ぶ。本来、子供達は遊びを作り、イタズラを考える天才なのだ。不幸な事に、この素晴らしい能力を親たちはお金を出して摘み取ってしまっているのである。子供達は好奇心が非常に強い。しかし、経験や知識が少ないため、危機感がほとんど無いに等しく、まったく無防備である。それでいて好奇心を感じると何でもやってみようと行動する。これが大人の目で見ると非常に危なっかしい。そこで大人たちは子供に注意をし、それに従わないと叱り、何ごととも従順に従う子供を「おりこうさん」としてしまう。これが悪いのである。悪いときに叱って諭すことは必要であるが、叱ることで子供たちを操ってはいけない。

現代の親たちは、この点を見逃しており、親の言うがままになる操り人形のような従順な子供を良い子と評価する。そして、いつの間にか自分の考えや意見を持たない無意識人間を作り上げてしまっている。

「勉強だけが能ではない」

北山スポーツドクターの弁を借りると「人間の脳で、勉強だけに使う脳は限られた一部分だけであり、スポーツでは脳の全体を使う（特に、団体競技が良い）。したがって、スポーツをすることによって脳が活性化され全体に良くなる」という。これを裏付けるような記事が北國新聞の“時鐘”に掲載されていた。「…旧制第四高等学校の開学120年祭の記念展に、思想家の西田幾多郎と鈴木大拙の成績表が展示され、西田は及第、大拙は落第で行状欄には授業を休むため教師を欺く問題児であり、また、作家の井上靖は柔道に熱中し成績は自慢できる中身ではなかったという。そして級友に囲まれてズボンで脱がされるなど、生意気盛りの少年の世界では度が過ぎた悪ふざけがあったという。」（…北國新聞・時鐘より（H18-10-19））この3名は、世に知られたその道の大家であり頭は悪いはずがないのであるが青年期を窺い知るエピソードとして面白い。

これらをあわせて見ると、必ずしもガリ勉だけではなく悪戯やスポーツで頭を使うことで青年期を大いに楽しんだと思われ、厳しい規律のある時代の中でも、このような自由奔放な行動が大家としての糸口を芽生えさせたのではないだろうか。現在なら、間違いなく「いじめ」として社会問題になるような悪ふざけもしていたのだ。この点を現在の親たちは考えてもらいたい。

外での遊びや少々のイタズラ、悪ふざけなどは成長期における子供たちの必要悪として理解し、少しはその必要悪を分かってもらいたいものと思う。これらは、昨今問題になっているイジメとは全く異質のものであると思うが、現在は、これらを含めた全てがイジメと捉えられている。子供たちが外に出てグループで遊ぶことで、組織的社会性が養われ、悪ふざけとイジメの違いが自然のうちに身に付くのである。そして、その中から多くの事柄を学び、いじめなどに負けない強い子に育つのだ。

これからは、塾などへ行く時間を割いてでも外で遊ぶ時間を大幅に増やしてほしいと思う。点取り虫のように勉強をして良い大学へ入る事も悪いとは言わないが、その結果、ニートのような社会に順応できない人間が増えているのだ。子供には社会性を学ぶ生きた勉強が重要なのである。子供の頃の学問は義務教育の範囲で十分であり、無理な押し付け勉強は、返ってダメ人間をつくることになるのである。

「愛のムチは必要だ」

“鉄は熱いうちに打て” “叩いてその痛さを知る” という。最近では、家庭でも学校でも怖い人がいないし、また、注意や小言をいう人が少なくなり、見てみぬフリをして済ます大人が多くなっている。これが大きな問題なのである。悪いときは、悪いとはっきり注意すべきだし、場合には、少々の愛のムチも必要なのだ。

このような体験をしたことの無い子供が大人になり、そのような場面に出くわしたとき、その対処の仕方が分からず、自分の感情をむき出しにして思わぬ反社会的な行動に走ってしまう。やはり “鉄は熱いうちに打つ” 必要があるのだ。そして、愛のムチと暴力の違いが分かる人間を育てなければイジメの問題は片がつかないと思う。



第1629回例会

7月12日(木) 曇り 12:30~13:30 松魚亭

1. ご挨拶

新理事・役員

2. 出欠

出席 37名 欠席 27名
出席率 57.78% ビジター 6名

3. 来訪者(敬称略)

金沢RC 辻作次郎
金沢東RC 小池田康成
金沢南RC 中谷啓一 蓮川洋一
百万石RC 金沂秀 野城 勲

4. 幹事報告

- ・百万石RC 金会長、表敬訪問のご挨拶
- ・松平会員、ご尊父様会葬お礼のご挨拶

合計 5,000円 (累計 73,000円)

ニコニコボックス

百万石RC 金沂秀君、野城勲君

百万石RC 会長の金、幹事の野城です。今年には百万石RCの10周年です。特に宜しくお願ひ致します。

小間井君、中田(龍)君

百万石RC 会長・幹事様、ようこそおいで下さいました。

辻君 20ヵ年皆出席顕彰を頂きました。ありがとうございます。

飯田君 皆出席顕彰を頂きました。

松平君 父の会葬お礼です。泣き泣きボックスです。

島君 7月20日、勝田浩之会員に講演をお願いしました。感謝して。

佐賀君 お花ありがとうございました。

合計 30,000円 (累計 68,000円)

2. 出欠

出席 32名 欠席 32名
出席率 50% ビジター 7名

3. 来訪者(敬称略)

金沢東RC 中村 泉 二木克明
金沢西RC 澤田幸壮 細野文雄
金沢南RC 橋本光司 河原善一 高桑邦夫

ニコニコボックス

中田(龍)君、木村君

フルートの上野賢治さんと、ハープの上田智子さんをお迎えして。

佃君 7月27日より、浅の川園遊会主催の「白糸川床」が開催され、北RCの納涼例会にもご利用していただきます。皆様宜しくお願ひします。

理 事 会 報 告

7月12日(木) 出席者12名

◆ 審議事項

①退会会員の件

②ベルギー短期交換学生受け入れの件

8月20日~27日 女性二名(詳細はまだ)

国際奉仕委員会を通じてホスト家庭を依頼する

◆ 各委員会報告

友好委員会:

京都洛北RC 来沢希望日時 4月17~18日

当クラブの花見例会(4月10日)に合わせられるか問い合わせる

広報委員会:

地区広報委員会の報告

◆ その他

・今年度会長方針の確認

第1630回例会

7月19日(木) 晴れ 12:30~13:30 松魚亭

1. ミニコンサート

ハープ 上田智子氏 フルーツ 上野賢治氏



7月クラブ日誌

12日(木) 7月定例理事会 松魚亭にて

19日(木) 前年度最終理事会 松魚亭にて

講 話 予 定

8月2日(木)

会員 磯野洋明君

8月9日(木)

納涼例会 主計町「白糸川床」



会 長: 小間井宏尚

会長エレクト: 磯野 洋明

副 会 長: 安宅 雅夫

幹 事: 中田 龍一

副 幹 事: 中村 實博

S A A: 本多 弘夫

会 計: 松田 忠秋

広報委員長: 的場 晴次

会 員 数: 65名

クラブ設立: 昭和48年10月3日

例 会 日: 木曜日 12:30~13:30

例 会 場: 松魚亭 金沢市東山1-38-30

TEL<076>252-2271 FAX252-2273

事 務 局: 金沢市尾山町9-13・金沢商工会議所内

TEL<076>222-2525 FAX224-2882

E-mail:k-kitarc@aquahokuriku.ne.jp



この会報は再生紙を利用しています。